

扇小 元気な作品集

令和7年度(51年目)

面積の公式ができるまで

三角形の公式



底辺
高さ

①三角形に直角三角形を2つつけたして、長方形にし、Aから、A高さを引いて、長方形と正方形を作る。
式 $4 \times 5 \div 2 + 4 \times 4 \div 2 = 18$ ②長方形や正方形の面積は、たて×横だから、 $4 \times 5 = 20$ と $4 \times 4 = 16$ になる。
 $20 \div 2 = 10$ と $16 \div 2 = 8$ になる。
③直角三角形は、長方形や正方形の半分だから、 $\div 2$ をする。
公式になる!

台形の公式



①台形ABCDに合同な台形をつけたして、平行四辺形を作る。
式 $9 \times 3 \div 2 = 13.5$
 $(3+6) \times 3 \div 2 = 13.5$
 $(上底+下底) \times 高さ \div 2$
②平行四辺形の面積は、底辺×高さだから、 $9 \times 3 = 27$ になる。
③合同な台形があるから、 $\div 2$ をして、 $27 \div 2 = 13.5$ になる。
公式になるよ!!

平行四辺形の公式



①平行四辺形ABCDのAからCに線を引いて、合同な三角形を作る。
②三角形の面積は、底辺×高さ÷2だから、 $7 \times 4 \div 2 = 14$ で、合同な三角形だから、 $\times 2$ をして、28になる。
式 $7 \times 4 \div 2 \times 2 = 28$
③ $\div 2$ をして、 $\times 2$ をして、答えは、変わらないから、 $\div 2 \times 2$ をなくす。
公式になる!!

ひし形の公式



①ひし形ABCDのBからDに線を引いて、合同な三角形を作る。
②三角形の面積は、底辺×高さ÷2だから、 $7 \times 3 \div 2 = 10.5$ で、合同な三角形だから、 $\times 2$ をして、21になる。
式 $7 \times 3 \div 2 \times 2 = 21$
 $7 \times (6 \div 2) = 21$
③たての対角線は、6cmで、3は、6の半分だから、 $7 \times (6 \div 2)$ になる。
対角線×(もう一方の対角線÷2) 公式になる!

5年生の廊下に貼ってありました。算数で学んだことをまとめたようです。素晴らしい振り返り。きっと理解も深まっていったことでしょう。